

小便小僧になりたい

小便小僧ってカワイイわよねえ。どこにあるか知ってる？ ベルギーのブリュッセルなのよ。見てきちゃった、こないだ。でも意外だったな。いちばん華やかなグラン・プラス広場のど真ん中にあるのかと思ったら、ちょっと離れた角のところにちょこんとあるのよ。ちょうどワールド・カップのシーズンだったから、ユニフォーム着てた。でもね、ちゃんとオシッコはしてたわよ。あれってさ、戦争のとき、燃えている火に男の子がオシッコをかけたから、とかいろんな説があるんだって。でもとにかく、あのクリンとしたオチンチンがたまらないわよねえ。じっと握ってる姿も最高よ。まあ今でこそ私もこんなだけだし、昔はあんなキュートなオチンチンだったんだなあと思うとね、ちょっと感慨深かったなあ。

……ちょっと、なに笑ってるのよ、このブスども！ 私はマスターと話してるんだから勝手に聞いて笑ってるんじゃないわよ！

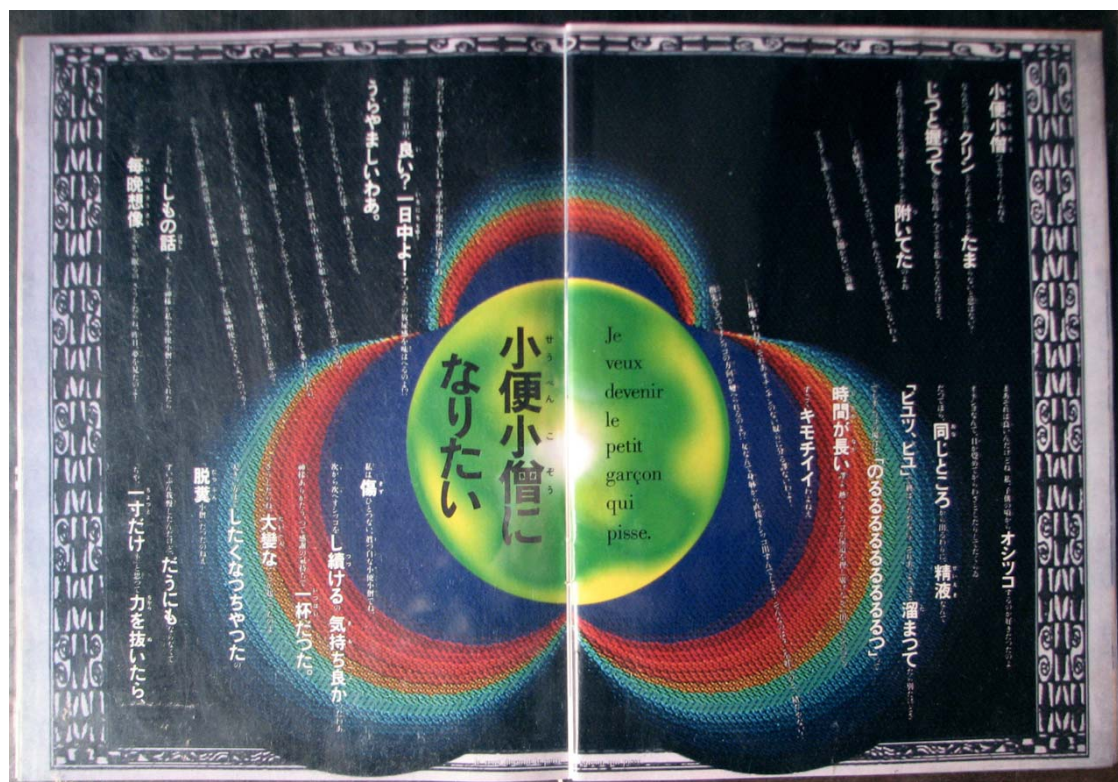
まあそれはいいんだけどさ。私、子供の頃からオシッコするのが好きだったのよ。それこそオネショなんて、目が醒めてからわざとしたりしてたくらい。だってほら、同じところから出るわりに、精液なんて「ピュッ、ピュッ」で終わりじゃない？ そりゃあ、よっぽど溜まってたら別んだけどさ。でもオシッコの場合は、「のるるるるるるるるっ」って時間が長いわけよ。熱いオシッコが尿道を押し広げながら出てくるのって、すごくキモチイイわよねえ。

……うっさいわよ。あんたらみたいにオチンチンのない連中にわかるわけないでしょ！ ふん。こちとら指先ひとつでオシッコの方向が変えられるのよ!? 甘くみんじじゃないわよ！ 女なんて身体から直接オシッコ出すんでしょ？ そんなのはタンを吐くのと一緒にじゃない！ あるのよ男にはオシッコひとつにもワビ・サビ・キビってもんがっ

わかったわよマスター、もう相手にしないわよ。マスターもちゃんと私の話を聞いてちょうだいよ。でね、普通はオシッコって、膀胱から尿管を通過してオチンチンに達してそこから螺旋状にきりもみしながら鈴口に向かうどの瞬間も背筋がふるえるほどに味わうことができるじゃない？ 出た瞬間だって、一瞬だけ縦になってるけど実に見事にひとつにまとまって美しい放物線を描くワケよ。……ついてきてる？ 集中して聞いてよ？つまりそういう気持ちいいオシッコであっても、いつか終わりが来るわけじゃない？ でも小便小僧は一日中、いい？ 一日中よ！ ずっとあの放尿感を味わえるんだもの!? うらやましいわよねえ。

……ったく、バカじゃないの、あんた達！ 決まってるでしょう、女じゃあ絵にならな

いからよ。公園の真ん中に「小便小娘」なんて置けると思ってるの？ 股おっぴろげてピラピラの間からシャアシャアシャアシャア小便なんて垂れられた日にゃ、日曜の公園でサンドイッチをつまむ家族団欒の手も止まるわよ！ だいたい「小便小娘」の頭に小鳥が止った絵葉書が売れると思う？ ワールド・カップのユニフォームを着せられる？ 少しは脳味噌つかいなさいよ、このバカ！



え、なに、マスター、「小便小娘」は本当にあるの、？ベルギーに？ 「ジャンネケ・ピス」っていうの？ ブリュッセルのグラン・プラスの裏？ でもろくに人なんかこないんでしょ？ 狭い路地のドン詰まりにあるんだ。そうでしょ？ ね、やっぱりねえ。だめよ、男の子でなくちゃ。

それより、聞いて。私ね、いつも寝る前に「もしも神様が私を小便小僧にしてくれたらどんなにステキだろう」って、想像しながら眠るの。そうしたらね、昨日、夢を見たのよ！ 私は傷ひとつない、真っ白な小便小僧でね、次から次へオシッコをし続けるの。気持ちよかったわあ。神様ありがとう、これから一生懸命オシッコをしていきます、って感謝の気持ちで一杯になったわ。

でも私、けっこう快樂には貪欲じゃない？ 性の狩人、ていうかさ、飽くなきローン・レンジャーっていうかさ、細かい意味はどうでもいいんだけどさ、なんかもうだんだんと、夢の中で、大きい方までしたくなっちゃったのよ。……敢えて文語的表現をとるとするならば「脱糞小僧」ということになるのかしら。人目もあるし、ずいぶん迷ったんだけど、

もうどうにもならなくて「じゃ、ちょっとだけネ」なんて思って力を抜いたら、これがまた、とめどもなく出るのよ。もう大便が出ちゃって出ちゃって止まらないのよ！ きんもち良かったわあ。パドドドドドって感じで、はじめの「パ」がよくわからないけど、とにかくそんな感じのキレの良さを伴った脱糞で、括約筋が刺激されっぱなしなの。「起きたときにパンツの中がコンモリしてたらどうしよう」って夢の中なのに心配しちゃうくらい気持ちいいの。

……まったく本当にバカね、あんたたちは。オカマとは関係ないのよ！ ああヤダヤダ、オカマと見るとすぐに「よくお尻に入りますね」とか「痛くないんですか」とか、そんなことばかり聞いてくる下衆って最低よ。言っとくけどな、ケツに突っ込むだけが能じゃねえんだよ！ 覚えとけクソアマ！

マスター、もう一杯ちょうだい。大丈夫、落ち着いてる。落ち着いてるわよ。敵じゃないもん、あんな奴ら。でね、なんだっけ？ とにかく、ほら、ずっと我慢してたウンコがさ、ダーっと出る快感。あるでしょ、忍び足で家にたどりついて、刺激を与えないようにズボンを下ろし、最高潮に達したところで、便器も割れよと一気に放出する!! 思い知ったかTOTO！ みたいな。あの気持ちよさがずうっと続くんですもの。ンもお、セックスの快感なんかよりずっと……

……なんなのよだから。いいじゃない、私にとってはそうなんだから。少なくともあんたらみたいなブスとくされまんこするよりはよっぽどキモチイイわよ。なによ。なにがセクハラよ！ あんたらがそんな奇想天外な顔で股ぐらにおまんこ一個ずつはさんでそのへんをウロウロ歩いてるこのほうが、よっぽど性的嫌がらせだよ！

ごめんなさい、マスター、ちょっと品がなかったわね。でまあ、私は思ったわけ。「キタナイこと」と「キモチイイこと」って裏腹でしょう？ 「汚す悦び」ってあるしさ。それに、生物学的に考えても、キタナイことつまり排泄がキモチ良いことになってるのよ。だってそうでなかったら排泄物が身体に溜まって困るじゃない？ だから生物は、黙ってても排泄したくなるように、全ての排泄行為には快樂を付与されているのよ。言ってみれば排泄行為がキモチイイのは、神様の贈り物なわけ。だからね、私は思ったの、一番キモチイイのは「小便小僧」より「排便小僧」より、「排泄物全般小僧」じゃないかしらってね。大小便はもとより、目には目クソがミリミリと盛り上がり、耳からは耳ダレがチョコレト・シロップのように渦を巻きながら次々に流れ落ち、鼻からは粘着質の青い鼻汁に乗ってプツプツと黒い鼻クソが蛙の卵みたいに絡み合い、ノドから出てくる黄緑色のタンにむせながら、皮膚という皮膚からは垢がぼとりぼとりと落ちていく。もちろん顔は笑顔！ 小鳥達に笑いを振りまき、その歌声と戯れながら全てを垂れ流しまくるのよ！

……うるさいわね、ブス！ あんたらが何を食べてようが知ったこっちゃないわよ。アンチョコビのピザ？ だから何よ。こっちはずっと前から排泄物の話をしてるんですからね。

言っとくけど今まではただの前振りよ。こんどは出した物をぜーんぶ戻…… な、なにマスター、あんたまでこのブスの肩を持つの？

そう、わかったわよ。帰るわよ。悪かったわねえ、横で変な話しちゃって。ピザ、おいしそうじゃないの、ケロイドの肌を剥したみたいでさ。

